

2020年度 特別研究推進費実績報告書

2021年 4月 30日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 基盤教育センター 准教授

(氏名) 坂本 毅啓

2020年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	地域の高齢化の進展に伴う課題の解決を目的としたリビングラボ活動の実践とその成果に関する調査研究					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>本研究では、産・官・民・学が連携して行うリビングラボ活動を実践し、高齢化した地域における地域生活課題の解決に向けた活動を行い、具体的な活動モデルを考察することを目的とした。しかし、しかし、2020年の春以降の新型コロナウイルス（COVID-19）感染症拡大（以下、コロナ禍）の影響により、その活動内容は大幅に予定変更して取り組んだ。</p> <p>結果、5月初旬にはコロナ禍を受けた緊急電話調査の実施、その分析、分析結果を踏まえた地域活動推進の助言、当該地区で実施した行方不明者捜索模擬訓練の実施の支援を行うことができた。予定を大きく変更することとなったが、結果的に当初とは異なる形で地域課題の解決に向けた活動を行うことができた。</p> <p>研究成果としては、コロナ禍を受けて大幅な予定変更が余儀なくされたが、結果的にはコロナ禍が地域にどのような影響を与え、高齢者を中心とした地域住民の生活課題（福祉ニーズ）に応える活動の模索を支援することに繋げることができた。また、コロナ禍が地域での生活や健康にどのような影響を与えたのかを早い段階で行った調査（アクションリサーチ）は珍しく、本研究成果はコロナ禍に関する資料としても意義あると考える。</p> <p>成果物としては、論文2本、学会発表1本、そして地域福祉関係シンポジウムでの報告1回であった。</p>					
	合計	使用内訳（単位：円）				
交付決定額	600,000	備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
支出額	132,110				132,110	
執行残額	467,890					
共同研究者	所属・職名	氏名		役割分担等		
	A 国際環境工学部 専任講師	安藤 真太郎		都市環境学による分析		
	B 地域共生教育センター 特任教員	勅使河原 航		住民参加やまちづくりの観点からの分析		
	C 大学院社会システム研究科博士前期課程2年	芹田 和気		研究補助		
	D ラボラトリオ 代表	南 伸太郎		リビングラボの専門家、ファシリテーター		
	E ラボラトリオ スタッフ	倉光 聡美		リビングラボの専門家、地域ケアの専門家		
	F ラボラトリオ プロジェクトマネージャー	長島洋介		リビングラボの専門家、プロジェクトマネージャー		
	G 北九州市保健福祉局 認知症支援・介護予防センター 情報・調整係長	柿添 英一		福祉行政担当者、行政等関係機関との連携調整役		
	H 北九州市保健福祉局 認知症支援・介護予防センター 認知症地域支援推進員	中村 真理子		認知症支援の専門家、活動への助言		
I 北九州産業学術推進機構 産学連携担当部長	藤本 潔		研究アドバイザー			